

基本目標3 こども・若者の未来を創るまち

【基本施策】①こども・若者を育む環境の充実

②未来を拓く教育の充実

年 代	自 由 意 見
10 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● こどもを育てる環境が整うと鹿屋で子育てをしたいという人が増えて移住を考えるきっかけになると思う。教育は、子どもたちのスキルや能力が上がり鹿屋の長所が増えると思う。 ● 個人的にとっても良い制度だと思うのが子ども医療費助成や学校給食費の無償化だと思う。子ども達が医師のしっかりとした診療を受けられることが医療の発展につながると思う。 ● 教育の充実は大切だと思う。 ● 子ども会の会員を増やしたり、発展するように対策してください。 ● 子育てに関していえば、学生だから分からないところも多いが、子供を産みたくなる政策は大切だと思う。ICT 教育について、学生の立場で言うと、先生たちもその機器を使ってなにをするかが分かってなくて、全然上手く活用できてない気がする。でも、そうでは無い人もいて、しっかり使っている人もいると思うが、別にわざわざお金を使ってまで全員に iPad を配ってまでのパフォーマンスができていないかと言えば、そんなことはないと思う。自分が紙でやってきたからなのかもしれないが、別に ICT 機器を使ってなにか大きな利点があるようには思えない。 ● これから先のことを考えると、子ども・若者を育む環境は大事になってくると思う。私も自分が住むところの子育て環境が整っていたら嬉しく感じると思う。 ● 教育は充実しているが、それに応える子どもたちが少ないように感じます。 ● 子どもたちが、学習出来る環境が当たり前ではないと言うのを理解できたらいいと思います。 ● 授業などで ICT 機器を活用した学習が良かった。 ● 教育や子育ての充実はもっと徹底してやったほうがいいと思う。 ● 子供から高齢者まで楽しめるショッピングモールなどを設立した方がいい。 ● AI の進化やデジタル化が進み、紙を使う授業がなくなっていくが、今はまだ、いいものなのかわからない。

年 代	自 由 意 見
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● 出会い結婚サポートはいらないと思う。行政が力を入れるところではないと思う。病児保育の発展に力を入れて欲しい。共働きで仕事を休めない時などある。他、子育て世帯の奨学金の補助をして欲しい。 ● ここで産めばこんなに安いとかそういうのがない限り、わざわざ田舎で産もうと思わないので、そこをなんとかした方がいいと思う。 ● 若者が出かける場所、商業施設などがもっと増えればいい。 ● コミュニティを作る場が少ない。 ● 教育に関しては問題ないように感じる。 ● こどもは大切。安心して学べる場所も大切。 ● 若者への支援の充実を図って欲しい。 ● 人口確保のために必要だと思う。 ● 子どもに良いものは親も助かる。 ● 一時預かりをしてくれる施設や、支援センターなどの更なる充実が必要だと思う。 ● 第三子の保育料が、上の子と歳が離れた場合、保育料が第一子扱いになる所が優しくない。 ● 第三子は、第三子で、扱ってほしい。所得に関係なく。

年 代	自 由 意 見
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校教育において「新しい事を取り入れる」「より良く変えていく」というような変える事を嫌っている体制をやめて欲しい。昔の教育体制のままでは、教育の質は向上しない。 ● 産後ケア、ファミサポなど無料になったが保育料は無料でないため、働いても保育料で消える。3人産んでも小3から、就園児から数えて、などの条件のため優遇されない。 ● 子育て世代ですが、いざ子育てをし始め鹿屋市の子育て支援センターにたくさんお世話になり、親子共々今も楽しませてもらっています。医療費助成や給食費の無償化にもすごく助けられています。産後ケアにもたくさんサポートして頂き、すごく楽しく子育てをさせてもらいました。子育てしやすい市だよということがもっと広まって鹿屋に子供がたくさん増えると嬉しいです。 ● この人口に対して図書館が1つとなっており、図書館自体も古くなっています。小さい規模でも良いので、今後必要と考えます。学習センターの図書は本の種類含め利用者は少なく感じます。都城の図書館はすごすぎますが。 ● 子供がいないので、現状がわからない。 ● 若者が鹿屋で就職したくなる賃金や職がもっと必要。 ● これからの街を守っていくのは未来の子どもたちです。その子ども達をより良く育てていくためには、今から保育料完全無償化や小さい頃からかかる資金面についてもっと良くなって言って欲しい。 ● 妊娠から出産まで診てもらえる病院が少ないと聞いたことがある為。 ● 子供が少ないからこそ出来る授業や取り組みがあると思う、課外授業でいろいろ体験するのも良いと思う。 ● 子育てをしていく上、様々な補助金に助けられており、本当に有難いです。一方、教育に関しては都心部に比べるとタブレット学習やIT学習等がやはり遅れていると感じることがあります。 ● 産後ケアはとても助かったのですが、4ヶ月までではなく、半年にしてほしい。 ● 市の将来を担うのは今の子ども達になるので、政策を興すことが大切だとおもうから。 ● 晩婚化しているので、不妊に関する補助の充実が必要。 ● 子育て世帯への金銭面の支援を充実してほしい。 ● 子どもに対する助成金や補助などは割と考えてくれているのかなと思っている。ただ、輝北地区は公園もなく、本当に子どもが遊ぶ場所がない。子ども達だけでは気軽に市街にも行けない。また、学校だけでは部活動の選択肢がないので、本当にやりたいことができるようになってほしい。月1の未就学児相談会についても、知り合いに教えてもらわなければ、把握出来なかった。もっと周知すべきだと思う。 ● 保育料0円で保護者負担を減らして欲しい。 ● 将来を担うのは今の子どもたちである。 ● 共働きで小学校低学年の場合は早く帰ってきたりする時に利用できる学童をも

う少し増やしてほしい。

- 鹿屋市に限った話では無いですが、変わった保護者への配慮や、「行き過ぎた指導」を避けるため、必要な指導ができず教室が学びの場でなくなっているケースが多いのではないかと感じています。児童生徒が良くないことをした際に適切な指導を行うための要領を定めた方が良いのではなどと考えます。
- 医療費・保育費・給食費の無償、公園や遊び場の充実など、こどもを育む上で不便を感じたことがない。「未来を拓く教育の充実」について、公共交通手段の乏しさによる実質的な進学先の限定化が起きているのでは、とも感じる。駅がなく、民間バスも回数が乏しいことから、高校生の多くが原付や親の送迎で登校している。なにか行政からのアプローチは検討可能か。
- 子供医療費の窓口支払いがなくなったのは有り難く思っています。
- 雨の日に遊べる場所を作ってほしいです。
- 学童クラブがないと親は働けない、そうすると社会は回らない。小学生が帰宅して仕事終わりの親が迎えに来る 14 時から 19 時の為に働くメリットが欲しいです。この時間って一番家にいたい時間ですよ。たった 5 時間で賃金は安い、メリットの感じない時間帯を働いてくれている学童クラブの職員への何かしらの手当を充実してほしいです。
- 教育に関しては鹿屋はかなり遅れていると思いますよ。未来を担っていく子どもにこそ正しくお金を掛けるべきです。

年 代	自 由 意 見
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て世代で、育てやすい環境だと助かる。 ● 最近ある中学校が荒れているという話を複数回耳にした。噂レベルの話であるが、このような噂が流れている段階で、こどもに対する政策が充分とは思えない。 ● 地方は塾がなく通えない子も多い。地方にいてもしっかり学力がつくような環境や子どもへの動機づけが大切。 ● 子どもの医療費、給食が無償になってくれてありがたいです。 ● 鹿児島市出身の自分からすると子供の進学の選択肢などがとても少なくて残念に思います。 ● 鹿屋で生まれ育っても鹿屋を出て進学就職する人は少ないと思います。 ● 働く場所があり十分な収入を得られ、鹿屋市に生まれて良かったと思える市になってほしいです。 ● 高校を卒業した子どもたちが県外などへ出ていくことが多く、戻って来ないため。 ● IT化はどんどん進めて欲しい。教育だけではなく様々な場面で推進して欲しい。 ● どこで情報を得れば良いのか自分分からない人が多いと思う ● 子どもたちの未来のために、もっと教育面に関して取り組んでほしい ● 非常に満足。これからも継続していただきたい。 ● 子供を産むだけ産んで、ほったらかしにしている。 ● 本当の意味での愛情不足のせいとか他県に住んでいた時より、子供たちが他人に対しての攻撃性が高いように感じた。親の前だけ、いい子を演じる。 ● 部活動なども親の協力やお金がなくても参加できるようにしないと、妬みから他人を攻撃するようになっていくと感じている。 ● 教育とは、何を根拠にしているのか。明確な指針とそれから溢れる対象に関して、受け皿。誰もが成長できる環境が本当に必要。 ● 外国人雇用の増加により登下校の心配が増えるのではないかと危惧しています。 ● 医療費助成が高校生までになり、しかも窓口での一時負担もなくなりとても良い。 ● 英語教育の格差が顕著で、学力に直結するので、市全体で幼少期からの英語教育に力を入れて欲しいと思います。 ● 学校行事の音楽発表会に参加したが、体育館が暑くて生徒・保護者が密集すると熱中症発症のリスクが上がるので、体育館に冷房を入れて欲しいです。体育の時間も心配です。 ● 子ども手当など充足している。 ● 小さい子供の支援は多いが、1番お金がかかる大学生、専門学生への支援が少ない様に感じる。 ● こどもへの支援は頑張ってくれていると思う。 ● 自然が多い点では子育てをする環境としていいと思う。しかし、子どもが大学に

進学をする際には他市町村や他県に子どもが出なければならず、就職先も農林畜産以外で特別なものも少ない為、若者世代を育む環境という面では満足してるとは言えない。

- 教育の面でも小中学校の受験もないためか、競争意識も低く、公立高校の学力低下も感じているため改善を求める。
- 今の子供達を色々な方向から大切にし、大人がサポートしていかないとけないと思う。
- 不登校児童・生徒がかなり増えている。学校以外で子供たちが過ごせる場所の充実。
- 保護者の負担軽減のため、子供たちが笑顔で過ごせるために施設を作ってほしい。

年 代	自 由 意 見
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育は市だけでなく、県、国も巻き込まないと日本の水準は下がるばかり。教育指導要領にこだわらない教育を目指すなら、まだまだ取り組める事があるかもですね。結婚は本人にその気がないと、今はアプリやじんこう AI で解決する。 ● 今以上に力を入れて未来を担う若者に充実した支援をしてほしい。 ● 私達が若い頃は、産科は 8 カ所くらいあったものですが、今はかなり減っていると聞きます。受診が遅くなると断られるとか。少子化対策を色々して頂いているのでしょうか産科の減少というのは、それ以前の問題なのでは。と思ってしまう。 ● 医療費助成や学校給食費の無償化は自分が子育てする頃には少なかったり無かったりしたので、今、子育てしている方たちはうらやましく感じる。 ● 高校卒業後の進学先が鹿屋には少ないと思います。今は大学だけではなく多種多様な専門学校も多く高校生の進学率も高くなっていると思います。進学の為に鹿屋を出るのではなく鹿屋でも進学先の選択肢がふえる事も子どもや若者の未来になると思います。 ● 産後支援体制充実してほしいです。正社員で働くママ、パパ達も学校行事に行けたり、子どもと関わりもてるように企業に働きかけなどできないのでしょうか。 ● 不妊治療などによる助成をいち早く取り組んで欲しい。 ● 保育サービスの充実は、雇用促進のためにも必須と思います。 ● 学校の事業は I C T に過度に頼らず、また、宿題に頼らず「学校で、対面で、」できる事を重視するのが良いのではと思います。I C T 機器のスキルは必要なら自分ですぐに身につけられます。 ● 病院増えるといい。保育サービスの充実も大事だが、ゆとりをもって子育てできる家庭環境、働き方ができるような取組を考えた方がいいと感じる。学校の在り方を見直すべき。I C T は本当に必要な者に与えられているのか。今の学校や教育、支援機関は本当の意味での連携はなされていないと思う。もっとつながりを大事にするべき。 ● 教材の購入について意見を吸い上げて、適切な予算を配分していただければと思います。ただでさえ、教員はブラックと思われ、志願者も少なくなっています、待遇改善を望みます。 ● 子ども医療費の窓口負担がなくなったのは、本当にありがたい。 ● 支援が必要な児童生徒や、不登校の児童生徒が多くなっています。早急に教育現場を支えてほしい。学校は人手が不足しています。学力向上の前に、どんな児童生徒も楽しく学校に通えるよう、教職員の定数と働き方を善処してください。 ● 未来に向けた若者の教育が重要。 ● 市生涯学習課を中心に、様々なイベント開催や事業協力、出展をされています。こうした機会を更に支援して欲しいと願っています。 ● 子供医療費、給食費はありがたいです。ずっと継続して欲しいです。しかし給食の内容は自校で給食を作っていた時と比べてかわいそうだとおもいました。 ● 教育現場の要望が還元されにくいために、職場の労働環境がほぼ改善されてい

ないから。

- 子供の教育は、親の理解と職と賃金の安定が不可欠。
- 高専を誘致する。大卒者より若く専門知識に長けた人材育成を希望する。
また輝北小学校、中学校の教育現場はレベルが低いと思う。ひとつは競争意識の低さだ。ある程度の施設統合は必要と感じる。
- 多様性のある学びの場を広げてほしい。
- 子ども政策について、あまりわからない。
- 障害社会福祉にもう少し優しい町であってほしい。
- 医療機関の不足。
- 楽しみながら学べる空間。
- 大人と子供と一緒に体を使って遊ぶ場所。
- 農業体験や一坪オーナー。
- 小中高の学校が集まってそれぞれが作った物や食品を販売したり、芸術を披露するしたりなど、定期的に子供たちを中心としたマルシェがあるとよい。
- 教育に関してはできるだけ重点を置いてもらいたい。教師の待遇改善も含めて。
- 自然が豊かではあるが、都市部に比べると経験値が低く、選択肢が少ない。

年 代	自 由 意 見
60 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● 先日、小学校のフリー参観に行きました。1年生のクラスはカオス状態。びっくりしました。親や祖父母が見ている中、緊張もせずだらけた姿勢に動き回る児童達、先生の苦労を目の当たりにしました。まずは座学からとは嘆かましい。幼稚園、保育園、家庭での指導を考えると何から手をつけて良いのか状態なんでしょう。あまりの変化に驚きました。 ● 子供医療費助成、学校給食費への無償化はよいと思います。 ● 集落に子供が一人もいないので、やがて集落はなくなるのだと思います。 ● 産科を増やして欲しい。保育社員の給与手当を増やす。 ● 子供にあまりにも手当、無償化をやり過ぎ。中年世代にはあまり補助みたいなのがない。 ● 主に少子化対策に向けた施策として、手厚いサポート体制がより重要度が増している。教育環境において、デジタル、アナログの両面のメリットをうまく活用しながら進めていただきたい。 ● 鹿屋市では産婦人科が少ないと思う。産むためには鹿屋市では出来ない。里帰り出産も困難。 ● 若い人たちの出会いの場が少ない。 ● ごく一部だと思うが、親でありながら中身は未熟な方々もいて、その子どもたちの教育が困難だと感じる。 ● 真に家庭、地域、学校が連携、協働して運営される学校にしてほしい。 ● 子供達の若者親は地域との交流はしない。町内会の集まりもでない。親、子供の接点がない ● 大隅半島の中核自治体として、ぜひ子育て、教育には重点を置いて下さい。産まれたけど不幸にして病児・障害児の場合は出来る限りの支援を願います。 ● 鹿屋市内の学校ごとの考えはあるのですが、部活、行事の行い方がまちまちなような気がします。人数には大小ありますが、小さい学校の子供達も選択肢があれば良いと思うのですが。 ● 図書館、美術館等の文化施設が足りない。 ● 不妊治療、産後支援、各種健康診査の案内等については、広報等で知らされているところだが、実費用という観点からは、いかななものかなと思われる。 ● 知人が不妊治療をしていましたが、皆さん市外に行っていました。仕事をしながら夫婦でとなると休みを調整したり、移動に時間がかかったり負担が大きいうように感じました。

年 代	自 由 意 見
70 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ● 地方は国の範囲内でしかできないから、国に教育関係の充実を働きかけていくべきだ。 ● 全てが重要であるが、本土の南に位置している事から人の流入には期待がもてない。 ● 町内会長等の動きが見えない。一部の人達だけの町内会ではいけない。昔は、綱引き、すもう大会（十五夜含め）色々な活動を皆でしていた。活力不足だ。 ● 人工増を目標に若者に働く事業等検討を。 ● 子育てに金がかかりすぎる。 ● なるべく親が子供達を自分の手で育ててほしい。 ● これからはインターネットなどの通信を駆使する情報が必要と思われる。 ● 結婚適齢期の男性が何人住んでいるか知りませんが、若者達に快適な仕事があり鹿屋市にずっと住みたいと思う気持ちになってくれたら一番良いことだと思う。市はもっと中学生高校生たちの意見も大いに聞くことが大事と感じる。私事ですが小学六年生の孫の女の子ですが、話をしてけっこう夢のある楽しく、また厳しい意見を言いますので。 ● 子供、若者はこれからの鹿屋市にとって重要な大事な宝だと思いますので、いろいろな面に支援をできるだけ最良にしてほしいと思う。 ● 保育サービスの充実や産後支援体制を充実して安心して子育てができる地域にしてほしい。 ● 充実していないと、若者が地元から出ていってしまう。 ● 若者が鹿屋に残るためには雇用の安定が必要。